

季節はあわただしく、春から夏へ

真光寺川を清流にする会 山口拓郎

季節の移り変わりはあわただしい。下堰の里桜が固い蕾をつけていたのは、つい昨日のこのように思える。5月に入り夏日が続いている。アジサイの顎が紫に色づき梅雨の近いことを告げている。川の水水位が下がっていることが気になる。下堰橋の辺りは川底の岩盤が剥きだしになっている。透視度は90以上を保っているが、何か黒ずんで見える。微細なプランクトンでも宿しているのだろうか。水質は確実に劣化しつつあるように思える。その原因の一つに水量の減少があげられよう。汚い藻は益々元気である。毎朝お目にかかる水流さんは「この藻は決して汚いものではありません。むしろ懸命に水を浄化しているのです。」とおっしゃる。その通りだと思う。5月下旬、昼過ぎ下堰を経て悠々園へ行く途中、川の様相が朝と一変しているのに驚いた。褐色の藻が円錐状の束になって川面を埋め尽くしていた。藻が懸命にアラームを発しているよう思えた。

{3月上旬}

「日の出6時12分」寒い日が続く。サザンカ散る。紅梅七分咲き。里桜の蕾固い。ハナモモの蕾ふくらむ。藻、なりを潜めている。里桜にムクドリが群れていた。

3月2日(月)悠々園へ

快晴微風、春風が快い。紅梅の蕾ほころび始める。カモが5羽、日だまりで昼寝を楽しんでいる。セキレイが舞う。藤棚の下でお年寄り夫婦が弁当を食べていた。

3月5日(木)一木会

18時魚民で。出席5名。真光寺川通信・4月号で黒田さんに水質問題を執筆してもらうことになる。4月初旬から広袴公園の浚渫作業をする旨連絡があったそうだ。

3月8日(日)清掃作業中止

前日から冷たい雨が降り続く。朝、作業中止のメールが入る。体験ボランティアの高校生5名参加予定だったが残念だ。

{3月中旬}

「日の出5時58分」春浅い。31年ぶりの寒波襲来、霜柱がガチガチ。紅梅満開。ハナモモほころぶ。増水で川底に張りついていた藻ははぎ取られている。

3月12日(木)悠々園へ

小春日和。カモ午睡を楽しんでいる。下堰にコサギがスックと立っていた。増水で洗われ川底の岩盤がきれいになっている。

{3月下旬}

「日の出5時44分」急に春めいてくる。紅梅散る。ハナモモ満開。桜の蕾ふくらむ。ユキヤナギちらほら、今年は花が少ない。藻、急にふくらむ。

3月27日(金)悠々園へ

春本番、日差しが強く汗ばむほどであった。カモの影は見えない。矢崎橋の近くでコサギが餌を啄むでいる。ハナモモ散り始める。

{4月上旬}

「日の出5時29分」春ためらいがちに。雨が多く気温は低い。降雨の割に水位はさほど上がらない。ハナモモ殆ど散る。桜満開、そして早くも散り始める。三色ツツジ一斉に咲く。藻、川底でふくらみ始める。

4月8日(水)寒波襲来

桜満開の時期を迎えたが、突然の寒波襲来。増水した濁流に桜の花筏を浮かべて流れて行く。濁流にのまれ藻は見えない。

4月9日(木)「通信」発行、一木会。

14時から鶴川支所で「通信」を印刷、5名参加。エコネット通信を同封発送する。18時から魚民で一木会。6名参加。会の記録の一環としてエコネット通信の真光寺川部会レポートをホームページに掲載することになった。

{4月中旬}

「日の出5時15分」天候ようやく安定す

る。後半はいきなり夏の気配、異常気象か。八重桜咲き始める。三色ツツジ散り始める。ハナミズキ色づく。ムクドリが群れる。川面にブヨが舞うようになる。藻、川底にべったり張り付く。

4月12日(日)清掃作業

快晴、気候温暖。ミニ水族館が展示される。16名参加。久しぶりの清掃作業で大量のゴミを収集する。26袋。鶴四小の児童と大学生の兄妹、真光寺在住の町田総合高校生も参加する。

{4月下旬}

「日の出5時2分」気温高く晴天が続く。八重桜、ハナミズキ満開。ツツジ七分咲き。コイ繁殖の季節を迎えてザワつく。カワセミがホーバリング。ブヨ群れる。藻、繁殖益々活発、水面に断片が漂うようになる。

4月24日(金)昼過ぎ悠々園へ

晴、汗ばむ天候。ハナミズキ満開。ヨシノボリが群れている。下堰でコサギが餌を啄んでいる。藻の断片が川面に漂う。

{5月上旬}

「日の出4時50分」鮮やかな新緑の季節となる。ハナミズキ散る。池にキシノウブがほころび始める。フジ棚から紫の花房がたれている。藻の繁殖いよいよ活発になる。



5月7日(木)一木会

18時から魚民で。「川まつり」開催の方向で準備することになる。

5月10日(日)清掃作業

快晴、快適な清掃日和。参加15名。大学生と小学生の兄妹、先月に引き続き参加。ゴミは少なく15袋。志田さんデッキブラシで川底の藻を削ぎ落としきれいになる。

{5月中旬}

「日の出4時40分」台風が南方洋上を通過、気温がぐんぐん上がる。キシノウブが満開に。里桜の傍らに深紅の火炎のような花が開花しているのに驚く。オーストラリヤ原産の「ブラシの木」だそうだ。藻は除去され川底の岩盤が見えている。

5月11日(月)「夏休み子供フェア」誌教育委員会に小冊子「夏休み子供フェア」に「真光寺川まつり」開催を掲載可能か問合せ。幸い締切りに間に合い掲載してもらえたことになった。

5月15日(金)悠々園へ

夏の日差しが容赦なく照りつける。オイカワが群れている。カモが午睡を楽しんでいる。藻は削ぎ落とされて川底のきれいな岩盤が見えている。

{5月下旬}

「4時33分」晴天、暑い日が続く乾燥注意報が出る。キシノウブ、フジ殆ど散る。アジサイの顎が色づいてくる。ブラシの木も色褪てしぼんでしまう。ドクダミの群落が地面を覆う。測道にタチアオイが大輪の花をつける。藻は再び川底の岩盤を覆い断片が束になって漂い始める。

5月25日(月)悠々園へ

各地で真夏日を報ぜられる。下堰の異様な光景に驚いた。藻の切れ端が円錐状の束になって川面一面を覆っていた。繁殖期を迎え気温の上昇に伴い活性化しているであろう。「汚い水、モウ手ニオエマセン!」と叫んでいるように思えた。

5月30日(土)セブン・イレブン移転
セブンイレブンの店舗が、権現橋をはさみ50m先の場所に移転した。朝から開店セールスの客で賑わった。(この項おわり)